

イランでは武装暴動や外国の干渉に反対して 100万人の行進が行われている

アル・マヤディーン英語版 2026年1月12日 09:35

1月12日、イラン全土で大規模な抗議が行われ、国の主権を守り、武装暴動や外国の干渉を非難している。

[Million-man marches in Iran against armed riots, foreign meddling | Al Mayadeen English](#)



イラン中部アスド市でのデモ（1月12日 ファルース通信社）

1月12日の朝、イラン全土で「国民連帯と平和と友情の敬意」というスローガンのもと、武装暴動を非難し、イスラム共和国への国民支持を再確認する大規模な100万人規模の抗議活動が広がった。

イラン人はテヘランからイラン南東部にかけて、武装暴動を非難し、国家の安定を支持する声を上げました。

アル・マヤディーンのイラン特派員は、複数の州に広がったデモ参加者がイラン・イスラム共和国の旗を掲げ、アメリカ合衆国と「イスラエル」に反対するスローガンを唱え、外国の介入を拒否したと報じた。

イラン人は武装暴動とその後の騒乱に抗議し、安全と安定へのコミットメントを強調したと特派員は伝えています。

葬儀の行列が行われました

彼は、武装暴動で標的となり死亡した多くの人々の葬列が、大規模なデモの開始と同時期に、イランのいくつかの都市で葬列が行われたことに言及した。

一方、イラン国営テレビは、ザヘダン、ビルジャンド、ケルマンなど、イラン南東部の複数の都市で行われた抗議活動のライブ映像を生中継しました。

何百万人もの人々が街頭に繰り出す中、テヘランのメッセージは明確です。抗議には賛成だが、武装混乱や外国の干渉は容認しない。

日曜日、イラン政府とイスラム革命防衛隊は、安定支持を表明し暴動や外国の干渉を拒否するための国民連帯集会への広範な参加を呼びかけた。彼らは平和的な抗議の権利を強調し、アメリカ合衆国と「イスラエル」が破壊工作や抗議者の死について責任を負うとしました。

抗議活動は続いている

イラン西部のケルマーンシャー州では、1月11日に全国で最近起きた武装暴動を非難する大規模なデモが行われました。抗議者たちは「アメリカに死を」「イスラエルに死を」といったスローガンを掲げ、イランの内政へのいかなる形の外國干渉にも強く反対しました。

緊張が高まる中、イランは騒乱中に亡くなった内務治安部隊のメンバーのために大規模な公開葬儀を執り行つた。

北ホラーサーン州のボジュヌルドでは、ガチサラン、コフギルイエ、ボイヤー・アフマド州、イラン南西部のイラムでも同様の式典が行われ、最近の暴力で命を落とした他の治安要員を追悼する中、2人の将校が埋葬されました。

この展開について、イラン警察長官アフマド・レザー・ラダンは暴徒を支持することに警告し、「暴徒側につく者は彼らの暴力の犠牲者になる」と述べた。

彼は平和的な抗議者と破壊行為に関与した者を区別する必要性を強調し、暴徒たちはイランの若者を標的にした意図的な計画に従っていると非難した。ラダンは、数名の主要な扇動者が夜間に逮捕され、寛大な処置を受けずに法的手続きを直面することを確認した。

イラン、武装暴動、破壊工作が目撃

イランでは武装暴動や破壊工作が経済状況に反対する平和的な抗議活動に浸透し、民間人やイランの治安要員が死亡している。

イラン当局は、武装破壊工作が正当な経済抗議に浸透し、民間人や警察の犠牲者を出したと繰り返し強調し、[米イスラエル関連のネットワーク](#)が暴力を助長していると非難している。

イラン当局は暴徒や破壊工作員を追跡し、モサドやアメリカの利益に奉仕するテロ組織や分離主義グループとの関係を明らかにしています。

外国勢力が騒乱を仕組む:ペゼシュキアン

1月11日、イランのマスード・ペゼシュキアン大統領はテレビ演説で国民に対し、「暴動は米国とイスラエルによって指示されており、イランの安全保障を損なう命令を出している」と述べ、外国勢力がこの不安定化を指揮し、イラン当局が状況を厳重に監視していると強調した。

ペゼシュキアンは「この国の人々は抗議し反対を表明しているが、市場に放火したり犯罪を犯したりはしない」と強調し、「政府は経済改革を継続し、正当な抗議と組織的な暴動行為を明確に区別している」と述べた。また、イランの機関が

合法的かつ制度的な手段を通じて経済的不満に対処することに引き続きコミットしていることを強調した。

米国とイスラエルの試みは敗北に終わる：革命防衛隊(IRGC)

一方、イランのイスラム革命防衛隊(IRGC)は、暴徒や武装集団による扇動や暴力行為により数百人のイラン市民が死亡したと発表した。

IRGCは声明で、[米国やイスラエル政権](#)に関連する暴徒やテロ組織による犯罪の結果は、過去の騒乱のエピソードで見られたように敗北であると述べた。

IRGCは、月曜日に予定されている[公開集会](#)にイランのあらゆる層に「広く断固として」参加するよう呼びかけ、大規模な参加が国民の団結を示すことになると強調した。

トランプ、ネタニヤフは武装したテロリスト

声明によると、米国大統領ドナルド・トランプは西側の支援を受け、イスラエルのベンヤミン・ネタニヤフ首相と連携して、傭兵グループに武装し指揮し、イラン国内でテロ作戦や暴動を遂行させた。

IRGCは、特にイランの進歩、独立、国家の強さ[に献身](#)している若者たちの間で警戒と意識の重要性を強調した。

さらに、イラン国民は大規模な市民動員を通じて、アメリカと「イスラエル」の指導者たちに決定的な打撃を与えると述べた。